

令和3年度学校評価結果

令和4年3月

<p>本年度の 学校重点目標 (成章生に身に つけさせたい資 質・能力)</p>	<p>1 健やかな体と豊かな心 2 挑戦する勇気と最後までやり抜く実行力 3 コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・ICT活用能力 4 基本的な知識・技能及びそれらを活用した思考力・判断力・表現力 5 持続可能な地域社会・国家・世界に貢献しようとする態度 6 ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度 (総合ビジネス科) 7 生活の価値や質の向上について主体的に考える態度 (生活文化科)</p>		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	自己評価
<p>生活指導 (生徒指導部) (各学年会)</p>	<p>基本的生活習慣 の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行 ・身だしなみ指導の充実 ・交通安全意識の高揚 ・適正な部活動指導 ・健康観察の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶が受け身の生徒も多く、継続して指導する。 ・良好だと感じられるが、注意を継続していく。 ・交通安全を意識させた結果、大きな事故等はなかった。 ・新型コロナウイルス感染症により制限があったが、活動は活発であった。 ・毎朝の健康観察をスムーズに行うことができた。
	<p>いじめの早期発見、適切な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意識調査等によるいじめの早期発見と適切な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果に基づき学年会・担任で対応することができた。
<p>学習指導 (教務部) (各学年会) (各学科) (各教科会)</p>	<p>主体的な学習習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別クラス編成を生かした学習指導の充実 ・個々の生徒の習熟度に応じた学習指導の充実 ・基本的授業習慣の確立 ・探究的な学習への取組 ・課題と予習・復習による家庭学習の習慣化 	<ul style="list-style-type: none"> ・各講座、クラスごとに生徒の実状や学力に合わせた学習指導を行った。 ・情報交換をしっかりと行い、個別指導にも積極的に取り組めた。考査前の学習会や長期休業後の学習会も実施した。 ・学習記録を活用し、面談などで振り返りを行い、学習改善に生かした。 ・感染症対策を行いながら、主体的に学べる時間を取り入れるよう授業内容を工夫した。 ・家庭学習の定着を図ったが、一部では学習習慣が定着できなかった。課題は多くの生徒が提出できるようになった。
<p>進路指導 (進路指導部) (各学年会)</p>	<p>進路意識の高揚 と学ぶ意欲の喚起</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路相談の充実 ・キャリア教育の実践 ・模試結果等の活用 ・大学入試新制度の研究 ・情報収集・情報発信の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面接に加え、進路に関する担任面談を行い進路意識を向上させた。 ・進路行事に積極的に参加する様子が見られた。 ・模試結果の集約を迅速に行い、全職員に報告した。各学年の特徴を掴み、教科指導に役立てた。 ・各研究会に積極的に参加し、適切に職員・生徒に伝達した。 ・進学・就職に関する情報冊子を配布した。
<p>その他</p>	<p>多忙化の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や部活動の制限はあったが、在校時間は改善に至らず、今後も改善に努める。次年度ペーパーレス化に取り組む。
	<p>国際交流活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校との交流の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョージタウン市とのオンライン交流会に参加した。コロナ禍でもできる交流を模索しながら進めた。
<p>今後の改善方策 について</p>	<p>生活指導については、身だしなみは概ね良好であったが、継続的に全教員で指導していく。公共マナー・交通安全に関する注意はしっかり行う必要がある。人間関係において心配な面も見られたので、注意深く観察・指導し、支援の必要な生徒には、学年を越えた全教員での情報共有や連携をしていく。</p> <p>学習指導については、生徒の学力に適した学習指導を教科と学年で連携し、継続的に行う。学習会の実施や適切な課題等で学習習慣を定着させる。授業の工夫により主体的な取組を促す。タブレットPCの活用を図る。</p> <p>進路指導については、個人面接・キャリア教育等様々な面で、各学年・進路部・教務部が連携を図り、充実を目指す。進路情報の提供を増加させる。</p> <p>学校の魅力の発信を増加させる。</p>		